

第1回 山鼻小学校改築検討協議会議事概要

1 日時

令和6年（2024年）8月29日（木）10：00～11：00

2 場所

山鼻小学校 2階視聴覚室

3 出席者

別紙のとおり

4 協議会次第

(1) 開会あいさつ(学校配置マネジメント担当課長)

山鼻小学校の校舎は、経年による老朽化が進んでいることから、学校教育環境を改善し、今般の教育・学習に対応した施設を整備するため、校舎の建て替えを行うこととしたところ、学校に関わりの深い皆様のご協力をいただき、教育施設として、より良いものを作りたく、このような場を設けさせていただいた旨の開会の挨拶。

(2) 改築検討委員会・協議会の趣旨説明及び基本設計のスケジュールについて

(学校配置マネジメント担当係長)

【資料「改築検討委員会・協議会体系図」、「基本設計 想定スケジュール」】

ア 改築検討委員会について

改築検討委員会とは、改築の基本設計を行う際に、学校に立ち上げていただいている組織であることを説明。

イ 基本設計のスケジュールについて

資料をもとに、改築検討協議会及び住民説明会のスケジュールを説明。

(3) 学校施設と児童会館の複合化について（整備事業推進担当係長）

【資料「学校施設と児童会館の複合化について」】

山鼻小学校の通学区域内にある山鼻かしわ児童会館を、今回の校舎改築にあわせて、新校舎と複合化した児童会館として整備する旨、複合化後の児童会館の概要、整備内容について説明。

(4) 近年の整備事例及び新校舎の配置計画案について（施設整備係）

【資料「山鼻小学校改築ほか工事基本設計 第1回改築協議会」】

ア 事業スケジュール

令和6年度基本設計、令和7年度～令和8年度実施設計、並行して令和8年度工事着手の想定である旨説明

イ 基本方針・設計の考え方

「多様で柔軟な学習空間」、「健やかな学習・生活環境」、「地域との円滑な連携」、「環境への配慮」の4点を目標として施設整備を計画している旨説明。

ウ 配置計画案について

札幌市小・中学校施設整備基本設計指針、山鼻小学校改築ほか工事基本計画及び敷地の周辺環境や現状建物配置から、「安心安全で機能的な学校」、「周辺環境との調和」、「屋外環境」、「経済性」、「工期・施工計画」の5つをポイントに施設配置計画を進める旨説明。

現校舎位置での建て替えについては、全体工程やグラウンドの使用不可期間が長くなること、引っ越し作業が2回となる、仮設校舎の建設により多額の費用が発生する、学校敷地の北側・東側の住宅と校舎が近接する等、複数の課題があることから、既存校舎を使いながら敷地内の別の場所に建てる配置計画案とした旨説明。

なお、敷地面積の関係上、十分なグラウンド面積の確保のためにも体育館は校舎との一体整備が必要と考えている。加えて、児童会館や給食設備は1階への整備が望ましいことと、万が一、学校周辺が浸水した場合の施設利用を考慮し、体育館は備蓄庫と併せて3階に配置する案となった。

(5) 配置計画案等に関する主な意見・質疑応答

質 疑	回 答
エレベーターが整備されるとのことだが、どのような用途に活用される想定か。また、何名乗りのエレベーターを想定しているか。	エレベーターの活用については、学校の判断となるが、給食の配膳や車椅子を利用している方が使用することを想定している。 現段階では、定員13名程度のエレベーターを想定している。
トイレはすべて洋式化されることになるか。	今回の改築を機にすべて洋式化する想定。
改築工事におけるプール棟の解体後、新たなプール棟を整備しないとのことだが、プール授業は行わないのか。	現在、いくつかの学校では、試験的に周辺の区民プールや民間施設のプールを利用し、施設のインストラクターによる授業を行っている。山鼻小についても同様の運用となる見込み。
給食室では、山鼻小学校周辺の学校分の給食も作られることになるか。	検討中の段階ではあるが、将来的に、山鼻小学校は、周辺校も含めた給食を作る親学校とする想定。

学校周辺に、保護者が児童を送迎するために駐車している状況が見受けられるので、敷地内に待機スペースがあると良い。	限られた敷地面積の中で、必要な諸室を整備することになると、当該スペースを確保することは難しいと考えている。
配置計画案等についての意見	
校舎に新たに給食室を整備するのであれば、子どもたちが調理している様子を見学できるなど家庭科の授業の一環としても利用できるような設備が良い。	
様々な側面に配慮された良い計画に思う。	
現校舎の校門が狭く、朝の通学時間帯には子どもたちが歩道まであふれる状況も見受けられる。工事期間はスペースがさらに限られることから、周辺道路の交通安全も含め、これまで以上に子どもたちの安全を確保してほしい。	
石山通の歩道橋は老朽化が進んでいるように見えるが、今後も維持されるのか、解体されて横断歩道となるのか、今回の改築のタイミングに併せて更新できるよう所管している北海道開発局とも連携した方が良い。	

【結論】

学校配置については、今回提案した配置計画案をベースとして設計し、次回協議会で教室等の詳細配置を検討することとする。

(6) 改築検討委員会委員長あいさつ(山鼻小学校長)

山鼻小学校は、山鼻屯田兵が子弟の教育のために設立を願い出たことにより開校した学校で、今年で開校 146 周年を迎える。

学校を取り巻く環境は急速に変化している中で、コロナ禍を経て浮き彫りとなった課題もあった。

変化の激しく先行き不透明な時代ではあるが、子どもたちの安心・安全を地域の皆様と作り上げていくことは、今後も変わらず大事にしていかなければならない。

そのことが子どもたちにとって、地域を大事にする心を育むことに繋がると考えている。

先人たちの想いを引継ぎ、これからも子どもたちのために尽力してまいりたい。

以上

山鼻小学校 改築検討協議会 名簿

第1回

	所属	役職・係等	氏名	出欠
検討委員会メンバー 18名	町内会関係	曙地区連合町内会 会長	川上 康憲	○
		山鼻町内会連合会 会長	阿部 貞夫	○
		曙地区連合町内会理事(福祉対策部) ・曙第14町内会 副会長	畑中 泰子	○
		山鼻町内会連合会 副会長 ・山鼻第4加志和町内会 会長	伊藤 元良	×
	地域関係者	山鼻記念碑保存資産 事務局長	柳田 昌躬	○
	PTA関係	札幌市立山鼻小学校PTA 会長	芳賀 由治	○
		札幌市立山鼻小学校PTA 副会長	ブルモア 三曜子	×
		札幌市立山鼻小学校PTA 副会長	小野寺 友美	×
		札幌市立山鼻小学校PTA 元副会長	杉山 太郎	×
	児童会館	山鼻かしわ児童会館 館長	中林 奈津子	○
	学校関係	山鼻地区青少年育成委員会 会長	新井田 寛	○
		札幌市立山鼻小学校 元PTA会長	大友 累	×
		山鼻奨学会 会長	捧 教良	○
		行啓通商店街振興組合 監事	伊藤 隆彦	○
		札幌市立山鼻小学校 校長	佐野 浩志	○
		札幌市立山鼻小学校 教頭	武田 暁仁	○
		札幌市立山鼻小学校 主幹教諭	小松 慎治	○
		札幌市立山鼻小学校 事務職員	小川 実咲	○
札幌市関係部局・設計事務所 18名	教育委員会生涯学習部 学校施設課	学校配置マネジメント担当課長	日比野 篤	○
		学校配置マネジメント担当係長	加茂 大輔	○
		学校配置マネジメント担当係	佐藤 良亮	○
		施設整備係長	廣瀬 元彦	○
		施設整備係	玉井 直希	○
		施設整備係	黒川 寛人	○
	都市局 建築部 建築工事課	工事三係	池上 帆乃香	○
		工事三係	瀬川 大樹	×
		工事三係	福田 潤	×
		工事三係	牧田 翔太	×
	子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課	施設保全担当係長	片桐 有也	○
		整備事業推進担当係長	藤本 麻衣子	○
	中央区 市民部	曙まちづくりセンター所長	油屋 真由美	○
		山鼻まちづくりセンター所長	長尾 隆男	○
	設計事務所(建築設計) :北海道建築設計監理(株)	常務取締役	相内 進	○
		取締役設計監理部 主幹	舟山 了介	○
		設計監理部 副主幹	水野 慎太郎	○
		設計監理部 技師	加藤 丈治	○